

『一人の人間の命を救うものは、全世界を救う』

Whoever Saves One Life, Saves The World Entire.

第二次世界大戦中、  
6,000人もユダヤ人の命を救った  
“命のビザ”

外交官 杉原千畝は  
何故、日本政府の命令に背いて  
ビザを発給し続けたのか

その行動の根底にあったものとは

日本のシンドラーとも呼ばれる  
杉原千畝の生涯を  
ホロコースト記念館(ヤド・ヴァシェム)  
元副部長のミナ・ヤンコ女史を講師に迎え  
日本文化の息づく大濠公園能楽堂で  
紐解いていきます。

講演

日本男児

杉原千畝

セイワパーク(株)プレゼンツ『杉原千畝を語り継ぐ会』  
一人の男の一つの決心が6,000人もユダヤ人の命を救った！

講師



ホロコースト記念館(ヤド・ヴァシェム)  
元副部長

ミナ・ヤンコ女史

ルーマニア出身エルサレム在住  
ホロコースト記念館(ヤド・ヴァシェム)  
元副部長  
現在、エルサレム・ヘブライ大学付属植  
物園名誉主席研究員補佐官  
ヤド・ヴァシェムでは、第二次世界大戦下  
でユダヤ人を虐殺から救った義人(恩  
人)についての調査を行い、特に杉原千  
畝について調査を行った研究者の一人  
である。ユダヤ人の恩人についての講演  
を世界中で行っている。



2015  
11/7 土 = 1,000円 入場券

受付 / 13時

開演 / 13時30分(16時 終了予定)

於: 大濠公園 能楽堂

福岡市中央区大濠公園1番5号  
TEL.092-715-2155

チケットや詳しい講演内容は裏面をご覧ください。



# SUGIHARA CHIUNE STORY -人物-

杉原 千畝(すぎはら ちうね、1900年(明治33年)1月1日-1986年(昭和61年)7月31日)は、日本の官僚、外交官。

第二次世界大戦中、リトアニアのカウナス領事館に赴任していた杉原は、ナチス・ドイツの迫害によりポーランド等欧州各地から逃れてきた難民たちの窮状に同情。1940年7月から8月にかけて、外務省からの訓令に反して、大量のビザ(通過査証)を発給し、およそ6,000人にのぼる避難民を救ったことで知られる。その避難民の多くが、ユダヤ系であった。海外では、「日本のシンドラー」などと呼ばれることがある。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』



## PROGRAM - 講演内容 -

1. 挨拶 セイワパーク(株) 代表取締役社長 清家 政彦
2. 前座 (1)俳優 岩城 朋子  
(2)吟道光世流  
    上席師範 吉田 城世による詩吟
3. 講演 ミナ・ヤンコ女史による講演
4. 質問時間
5. 終わりの挨拶

### 【コーディネーター】

九州歴史観光戦略研究所 代表 井上 政典  
福岡県郷友連盟事務局長 稲葉 敏  
アジアプラン代表 永嶋 直之

## TICKET チケットのお申込み

◎入場券/お一人様

1,000円

◎チケット購入電話番号

TEL.092-474-8000

セイワパーク株式会社 経営企画部

### 【注意事項】

\*小学生未満のお子様のご入場はご遠慮ください。  
\*講演内容は都合により変更となる場合がございます。

■講演に関するお問い合わせ先

**セイワパーク株式会社**  
経営企画部 TEL.092-474-8000



## ACCESS - 会場のアクセス -



■ 西鉄バス  
大濠公園バス停下車……徒歩3分

■ 地下鉄  
大濠公園(3番出口)または唐人町(6番出口)下車……徒歩7分  
黒門バス停下車……徒歩3分  
大濠公園バス停下車……徒歩3分

## 大濠公園 能楽堂

福岡市中央区大濠公園1番5号  
TEL.092-715-2155  
FAX.092-715-2244  
<http://www.ohori-nougaku.jp>

